

都内中小企業の独創的な新技術・素材と、デザイン提案が新たな可能性を生み出す 2020年度「東京ビジネスデザインアワード」テーマ9件を発表

テーマに対するデザイン提案募集開始(11月3日まで)

東京都内の中小製造業活性化策として東京都が主催し、公益財団法人日本デザイン振興会(会長:川上元美、所在地:東京都港区)が企画・運営を行う「東京ビジネスデザインアワード」は、東京都内の中小企業の持つ技術や素材等をテーマに、新規用途開発とビジネス全体のデザイン提案を募るコンペティションです。

2012年に開始し9回目となる本年度は、本日、都内の中小企業から募集したテーマ全9件を発表、それに対するデザイナーからの提案応募の受け付けを開始します。募集期間は9月8日(火)から11月3日(火・祝)までです。

【本アワードの特徴】

・製品デザインにとどまらない、「ビジネスモデル」のデザイン提案を募集

都内ものづくり中小企業の持つ独自の技術や素材をテーマに、商品単体ではなく販売やサービス、コミュニケーションプランをも含めた事業全体の提案を募集。経営層とタッグを組み、密に協業することで企業の経営資源活用やブランド構築に向けたプロセスを積み上げることができる。

・専門家、事務局による継続的なサポート体制

各分野の専門家で構成される審査委員会によるアドバイス(商品開発、知財戦略、デザイン契約、販路開拓等)を通じ、アワード終了後も商品化、事業化に向けた支援および販売促進を支援。企業とのマッチング成立のみならず、ビジネスとしての成功につなげることを最終的な目的とする。

・商品化、事業化への豊富な実績

これまでにマッチングした企業とデザイナーによる提案実現事例は18件を数え、2年で50万本を売り上げる大ヒット商品も誕生(下記事例参照)。現在も複数のプロジェクトが実現化を目指し進行中。

2020年度 東京ビジネスデザインアワード

- デザイン提案募集期間:2020年9月8日(火)～ 11月3日(火・祝)
- 応募資格:中小企業との協業に意欲のある国内在住の個人またはグループ
- 応募費用:無料 ※ただし提案の制作に伴う実費等は応募者負担
- 賞・賞金:最優秀賞(1点) 賞金50万円
優秀賞(2点) 賞金各10万円
テーマ賞(1テーマにつき1点)
- 主催:東京都
- 企画・運営:公益財団法人日本デザイン振興会

【デザイナー向け デザイン提案応募説明資料公開】

応募を検討しているデザイナーを対象に、応募方法の説明、FAQ集、今回発表した9社による各テーマのプレゼンテーション動画といったデザイン提案応募説明資料をオフィシャルサイトにて9月18日(金)に公開します。また、各テーマ企業へのインタビュー記事、実際の生産現場の様子を紹介する動画を9月中旬から順次公式サイトにて公開します(本年度は説明会および工場見学会の開催はありません)。

詳細:www.tokyo-design.ne.jp/award.html

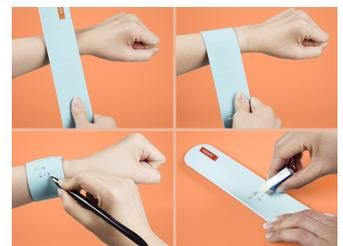
※本年度テーマ9件は次ページ以降をご覧ください。

※これまでの受賞提案などのビジュアルデータをご用意しています。下記までお問い合わせください。

参考事例:
2016年度優秀賞「wemo」

企業からの技術テーマ

水なしで肌に貼れる「特殊転写シール技術」
(株式会社コスモテック・立川市)



デザイン提案[優秀賞]

肌に貼って直接書けるメモシール(kenma,Inc)
バンドタイプとシールタイプの2種類を発表。
バンドタイプはシリコン製で腕に巻いて使用。油性ボールペンで書け、消しゴムや指で消すことができ、何度でも使用できる。

報道関係のお問い合わせ先:株式会社電通パブリックリレーションズ

担当:古池 Tel:080-3209-9698 E-mail:toru.koike@dentsu-pr.co.jp

応募など一般からのお問い合わせ先:東京ビジネスデザインアワード事務局(公益財団法人日本デザイン振興会)

〒107-6205 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー5階

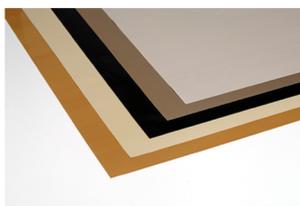
Tel:03-6743-3777 E-mail:tokyo-design@jidp.or.jp

2020年度 東京ビジネスデザインアワード テーマ概要(9件)

各テーマの詳細は、東京ビジネスデザインアワードの公式サイトをご覧ください。

<https://www.tokyo-design.ne.jp/award.html>

1 機能性と高強度を兼ね備えた「フッ素樹脂ファブリック」 中興化成工業株式会社(港区)



フッ素樹脂ファブリックは、耐熱性、非粘着性、滑り性、耐薬品性、耐候性、絶縁性、寸法安定性などの優れた特性を兼ね備える高分子材料。基材のガラスクロスに、フッ素樹脂を400°C近くの高温で焼き付けミクロン単位でコーティング。伸縮はしないが柔らかくカッターナイフで容易にカットでき、コーティングするフッ素樹脂の種類を変えることで屋根膜材やクッキングシート、粘着テープ、コンベアベルト、銅張積層基板、ラミネート板などさまざまな用途の製品に応用される。基材を、ナイロンと似た合成繊維のアラミド繊維クロスに変えることで、折り曲げにも強い丈夫なファブリックとなる。

2 環境にやさしい素材に特化した「パッケージ印刷加工技術」 株式会社一九堂印刷所(中央区)



持続可能な素材である紙のパッケージの開発および製造を長年にわたし実施。昨今海洋プラスチックごみの問題が世界共通の課題となるなど、日本でもプラスチック製品への懸念が高まっている環境下で、代替素材を探求。見つけてきた素材に対して社内テストを繰り返し、大口のパッケージ製造が可能なレベルまで印刷、加工技術を修得した。保有する環境対応素材の例としては、厚さ1mmの高級白板紙/黒板紙、水に強いが生分解する紙、木質由来で生分解するセロハンフィルムなどがある。これらは、プラスチック素材の代替可能性があり、将来性の高い素材である。

3 貼ってはがせて自由に切れる「樹脂製畳表素材」 ダイヤロン株式会社(中央区)



従来の畳というマーケットにとらわれず「貼って・はがせて・自由に切れる次世代畳」【ターテック】を開発。最大の特徴は「どこで切ってもほつれにくい工」がされているため、現場加工が容易で、室内の平滑面であればどこにでも簡単に貼ることが可能な点。防災仕様で水に強く、床暖房にも使用できる。湿度に強く、ダニ・カビが発生しないので衛生的なため、子どもやお年寄り、アレルギーをお持ちの方、介護が必要な方に優しく、気密性の高い住宅にも最適。天然イグサの畳の艶を抑えた自然な風合いを再現し、手触りが良く、季節を問わず快適性を実現した。

4 多様な風合いを表現する高度な「特殊塗装技術」 有限会社大成塗装電機製作所(瑞穂町)



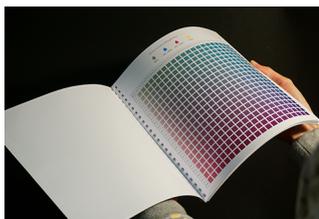
さまざまな素材へ塗装できるため、公共施設、店舗内装・外装、什器(じゅうぎ)等、屋内外問わず使用条件に合わせて柔軟に施工が可能。特殊塗装技術は、これに特化した専用設備によるものではなく職人の長年のノウハウと技術により、一般塗料やその他添加剤の特徴を生かし試行錯誤して開発した技術。そのため、職人の違いや使用する道具によって風合いが異なり、より自然な風合いを表現することが可能。実際の案件では、お客さまのイメージに近いサンプルに近い色やテクスチャーに合わせて調色し再現している。他の加工に比べ、納期やコスト面を含め柔軟に対応することが可能。

5 精密な柄合わせと職人芸が光る「革製品製造技術」 有限会社東屋(墨田区)



原皮やなめし方、色にこだわり厳選した革を使い、熟練の職人の手によって商品の一つ一つ丁寧に製作。革のクオリティーはもちろんのこと、ファスナーの滑りの良さ、内側の生地との風合い、色の組み合わせ、使い心地など、見えない一手間を加え、上質な革小物を楽しんで使ってほしいという思いを込めている。半世紀にわたり人気商品の「がまくち」、すみだの川面に映りゆく美しい表情をイメージした「まるあ柄」、北斎の作品をあしらった「粋HOKUSAI」長財布布など、小ロット生産ならではの良さを生かし、デザインや素材、細部にこだわったオリジナル製品を多数製作。

6 42億色を鮮やかに表現する「オンデマンド印刷技術」 株式会社千葉印刷(渋谷区)



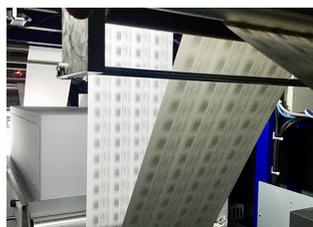
メタリック表現や特殊色の印刷が可能なオンデマンド印刷機「イリデッセ」を使用。これまで、特殊色の印刷表現は、大型機械を使用し、高額なコストや修正の難しさ、色校正などによる時間のロス等乗り越えてこそ実現可能な印刷だった。しかし、特色(金・銀・ピンク)+プロセス4色を印刷時に指定することで、希望とする色表現を幅広く印刷対応することが可能に。さらに、特殊色だけでなくプロセス4色も今まで以上に色再現性・安定性に優れている。また、印刷出力したものをすぐに確認することができるのも魅力。

7 環境負荷を軽減したプラスチック材による「射出成形技術」 株式会社ミヨシ(葛飾区)



金型の設計・製作、成形を主とする業務の中で、環境負荷を軽減したライフサイクルの長い製品を開発する必要があると考え、実現した技術。近年、海洋プラスチック問題に端を発し、従来の石油由来のプラスチック使用について地球規模の大きな課題となっている。塩素系添加剤が配合されている成形材料や、人体に有害なガスが発生する成形材料を使用していないことはもちろんのこと、生分解性プラスチック、木粉を含ませたプラスチック、植物を主成分としたセルロースナノファイバー含有樹脂等を用いた製品製作技術を有する。今後も自然由来の原料や生分解性プラスチックを使用した製品を開発し、循環型の社会を目指す。

8 確かな課題解決力で培われた「シール・ラベル印刷加工技術」 株式会社日本ラベル(板橋区)



注意喚起や商品PRのためのものなど、さまざまなシーンに欠かせないその種類は多種多様。特殊なものでは、開封が分かるセキュリティ封印シールや、再貼付可能／不可を作り分けできる個人情報保護シール、抗菌・抗ウイルス性のあるシールなど、多岐にわたる。シールなどののりのついた素材を取り扱うノウハウと、小ロットでの試作が可能な後加工機を多数保有。自動調色機に加え、オペレーターが特定の色を調合して作る特練り技術により、確かな色を表現できる。またFSCを取得しており、環境面にも配慮した製品を提供可能。

9 オーダー意匠器具製作で培った「アクリル樹脂の精密切削加工技術」 株式会社島田電機製作所(八王子市)



マシニングセンターを使用し、アクリル樹脂を精密に美しく加工(切削・接着・研磨)する技術とともに、バフ研磨、サンドブラスト、塗装など表面仕上げ技術に関し、長年積み重ねてきた経験とノウハウがある。また、ステンレスなどの精密金属加工技術、用途に応じた最適なLED光源の開発など、高い意匠性が求められるビルやホテルなどの特注型エレベーターの意匠器具(ホールボタン、表示灯)に生かされてきた実績がある。特に切削に関しては独自の刃物を開発製作し、切削工程だけでアクリル鏡面をつくり出せるため、バフ研磨等、後処理にかかる時間を大幅に低減。短納期、コストにも対応し続けている。

2020年度審査委員



審査委員長
廣田 尚子

デザインディレクター
有限会社ヒロタ
デザインスタジオ
代表



石川 俊祐

デザインインベション
KESIKI INC.
共同創設者



川田 誠一

工学博士
産業技術大学院
大学 学長



日高 一樹

特定訴訟代理人・
弁理士
デザインストラテジスト
日高国際特許事務所
所長



山田 遊

バイヤー・キュレーター
株式会社メソッド
代表取締役

「東京ビジネスデザインアワード」主な提案実現事例

これまでにマッチングした企業とデザイナーによる提案実現事例は18件。
販売商品が国内市場はもとより海外でも好評を博するなど、実績を重ねています。

「MASKING COLOR」 2012年度 テーマ賞

大洋塗料株式会社[大田区] × 小関隆一[RKDS]

乾くと剥がせる保護膜を作るための産業用塗料を、一般向けの「塗って剥がせる水性絵の具」として発売。これまでになかった新感覚の塗料として話題を呼びヒット商品となる。2015年にマスキングカラーPROを発表。

<https://maskingcolor.com/>



「FROM NOWHERE」 2014年度 最優秀賞・テーマ賞

カドミ光学工業株式会社[日野市] × 三浦秀彦、久保井武志[クラウドデザイン]

光学ガラスの特徴を生かした無宗教式にまつる「祈りの道具」。少子化や核家族化に伴って墓や仏壇を取り巻く環境が変わる中、現代のライフスタイルに合った新しい供養の様式を提案している。 <http://www.fromnowhere.jp>



「きえすぎくん」 2016年度 テーマ賞

細田木材工業株式会社[江東区] × 加藤陽子[株式会社GKダイナミックス]

東京多摩産材を使ったホワイトボードの提案。木材固有の素材感を生かした上で、滑らかに書き消しがしやすい塗装を施した製品。国産材の使用を増やすことで森林の環境保全を推進し、木材を使った心地よい環境作りに貢献することを目的としている。

<https://wood-kiba.com/woody-art-hosoda/kiesugikun/>



「irodo」 2017年度 最優秀賞・テーマ賞

株式会社扶桑[葛飾区] × 榎原美歩[株式会社GoodTheWhat]

さまざまな生地素材にアイロンなしで貼れる転写技術を用い、ユーザーが気軽にDIYやリメイクに活用できるシート。熱源を使わないため年齢を問わずに楽しめる。「生地をカスタマイズする」という今までにない新しい文化を発信している。

<https://irodo.tokyo/>



「香の具」 2018年度 優秀賞・テーマ賞

GRASSE TOKYO株式会社[江東区] × 清水覚、山根準、山根芽衣、安次嶺彩香

100%天然のエッセンシャルオイルと塗料を混ぜ合わせた新しい絵の具ブランド。絵の具の色を混ぜるように、自分で調香して、香りのしゅみを学ぶことができる。ブレンドという切り口で、香りを楽しみ生活に取り入れるきっかけを提案している。

<https://kanogu.tokyo/>



「METALFACE」 2018年度 最優秀賞・テーマ賞

株式会社技光堂[板橋区] × 今井裕平、林雄三、木村美智子、鈴木杏奈[kenma Inc.]

樹脂素材に金属調の特殊印刷を施す技術を多面的に生かした、ビジネスモデルの提案。次世代のプロダクトデザインの課題を解決する画期的な技術で、現在、ITプロダクト向けのインターフェイス「METALFACE」として、プロジェクトが進行中。

<https://www.metalface.tokyo/>



全ての実現事例はオフィシャルサイトに公開しています。

<https://www.tokyo-design.ne.jp/example/>